

2025 大阪大学（前期）英語（外国語学部）概評

出題分析		
試験時間 120分	配点 300点	大問数 5題
分量（昨年比較）〔減少 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 増加〕		難易度変化（昨年比較）〔易化 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 難化〕
<p><b>【概評】</b></p> <p>これまで大問Ⅰの英文和訳と大問Ⅲの自由英作文が学部共通問題であったが、2題とも外国語学部以外と袂を分かち、大問すべてが外国語学部専用の問題となった。大阪大学外国語学部の英語は、Ⅰ英文和訳、Ⅱ長文読解、Ⅲ自由英作文、Ⅳ和文英訳、Ⅴリスニングの5つの大問から成る。Ⅱの長文読解は、分量が多く設問がすべて論述式で外国語学部の大きな山となるはずだ。Ⅳの和文英訳は他学部と同様難度の高い問題が出題される。Ⅴのリスニングで読まれる英文の総語数は500～700語程度。ポイントとなる箇所について把握できるかが勝負の分かれ目になる。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	英文和訳 「コペンハーゲンのウォーターフロントの変身」 ○ 234 [下線:60+47]語 (昨年) (A) 57 語 (B) 98 語 [下線:57+57]語	コペンハーゲンのウォーターフロントが工業港から文化・娯楽施設へと大きく様変わりしたことについて述べた文章。(A)の The latest addition は新しくできた施設のこと。これは is の後が thanks to a local architecture studio となっていることからわかるだろう。(B)の第1文では情景を頭に浮かべることが重要になる。どちらも日本語の高度な記述力が必要な良問と言える。	(A) 標準  (B) 標準
II	長文読解 「英語の変化について」 ○ 語数：1262 語 (昨年) 1116 語	英語が言語として今後どう変化していくかについて、英語の経てきた歴史や現代の通信技術の発達などを踏まえて述べた文章。設問(1)は、第1段落と第2段落を参照し、両帝国の崩壊についても言及したい。設問(3)は、少し手ごわい問題だが、下線部のある段落の内容を材料に論理的に説明すればよい。すべての設問に共通することだが、抜き出して訳すのではなく自分の言葉で説明しよう。	標準
III	自由英作文 「今の世の中で不足しているもの」	特に専門的な内容について問われてはいないが、設問に「今の世の中で」とあることから、特定地域に絞った内容にならないように注意。また、「理由」と「何ができるか」との両者について記述する必要があることにも留意したい。	標準

設問別講評			
IV	和文英訳	世の中のライフスタイルや人々の興味や関心が同じものになってきている現代の状況を述べた文章。(1)や(2)は日本文通りに英訳しやすい部分が多かった。(3)は「違和感もなくスツと」や「いい時代になった」などのこなれた表現を前後の文脈を汲み取って上手く表現したい。	標準
V	リスニング 「多くのスーパーマーケットが終夜営業をする理由」 ○ 語数：525 語 (昨年) 502 語	多くのスーパーマーケットが終夜営業をする理由について述べた文章。設問(1)は具体的にこまごまとしたことが挙げられているのを抽象化して2つにしなければならない。設問(3)は自分の中で論理的に納得がいけば、多少聞き取れなくとも聞き取れた部分を自由につなげて書くのが正答にたどりつくコツ。設問(4)は最終的な状況だけを書けばよい。設問(5)は自然な日本語で書こう。	標準

設問構成（設問数・形式・内容）												
大問番号	設問数	選択式						記述式				
		同義選択	空所補充	内容説明	内容一致	整序	その他	和訳	内容(理由)説明	自由英作	英訳	その他
I	2							2				
II	6							1	5			
III	1									1		
IV	3										3	
V	5								5			

合格のための学習法
<p>比較的長い英文を読ませ、大量の記述を課す大阪大学外国語学部の入試には、小手先のテクニックでは太刀打ちできない。まず一学期の早い時期に体系的な英文法を暗記ではなく理解する仕方で身につけよう。同時にじっくり辞書を引ながら時間をかけて英文を読み始めるのである。決して速読練習などはせず、少ない問題を正確に読めるようになることを目指そう。スピードや量は後からついてくる。速さよりも正確さ。量よりも質である。また英文を書く練習もがんばろう。英作文の場合、できたら身近にいる先生に添削してもらうのがよいだろう。もちろん市販の単語帳・熟語帳を毎日こつこつやることも忘れずに。これらのことを地道に数ヶ月続ければその効果は計り知れない。焦りは受験勉強の敵。一見地味な日々の勉強の中に広がる無限の世界を発見し、それを楽しめる人間になろう。</p>